

A I 技術開発トライアル（レーダ雨量計の予防保全）  
参加者募集要領

## 1. 目的

電気通信設備（レーダ雨量計）の予防保全や設備の長期停止の防止のため、設備の状態をセンサ等によりモニタリングの上、データを蓄積し、A I 技術等を活用した分析を行い、設備の不具合の予兆や劣化の程度等の検知・把握を行う技術について、実際に稼働中の設備を用いてモニタリング及びデータ解析の試行を行い、実用化に向けた課題や改良点を明らかにすることを目的とします。

なお、本プロジェクトを通じて参加者が収集したデータは、今後の技術開発への活用のため二次利用していただいて構いません。

## 2. 募集期間

平成30年6月22日（金） ～ 平成30年7月6日（金）17時まで（必着）

## 3. 応募資格

- （1）募集技術に関する、製品、サービス等を有する民間企業、団体、行政機関または個人。
- （2）上記により構成されるグループ。

## 4. 応募方法

以下の応募書類を電子メールにより送付して下さい。

（応募書類）

- ・申請書（応募様式）
- ・提案内容説明資料（A4版横10枚以内）

（送付先アドレス）

- ・国土交通省 AI 技術開発トライアル 担当宛て  
hqt-AI-trial@ml.mlit.go.jp

（注意事項）

- ・件名は、「A I 技術開発トライアル（レーダ雨量計の予防保全）への応募」として下さい。
- ・送付するメールの容量は15MB以内として下さい。
- ・メールを確認次第、受付をお知らせするメールを返信します。

## 5. 応募上の注意

応募者は、応募内容に係る知的財産権、その他第三者の権利を侵害しないようにし、必要な場合は、応募者自身の責任において適切な手続等を行った上で、利用し

て下さい。

応募書類の情報を元に、試行内容等を国土交通省HPやその他の媒体に掲載することがあります。

本件への応募及び試行によって生じた応募者への損害や、応募者が他者に与えた損害について、国土交通省は一切、責任を負いません。

応募者は、申請書の提出をもって、これらの注意点や試行の実施条件に同意したものといたします。

## 6. オープンイノベーション

異分野交流による技術開発促進のため、オープンイノベーションを推進しています。そのため、応募者の希望により、提出いただいた技術内容を他のすべての応募者に共有します。あなたの技術をレーダメーカーやセンサーメーカー、ソフト開発会社などの他の応募者が有用であると認められた場合は、その応募者からの提案により、あなたと共同で試行を行うことが考えられます。

応募内容の他の応募者へ共有することを希望する場合は、申請書の該当欄にその旨記載して下さい。その場合、秘匿すべき情報を応募書類に記載しないよう留意して下さい。

なお、応募者の希望がなければ、あなたの応募書類を他者へは共有することはありませんが、共有を希望した他者からの応募書類は提供します。

また、共同開発にあたっては、各企業等の間で、役割分担、情報や権利関係の取扱をあらかじめ決めておくことが重要です。

## 7. 募集する技術

- ・ 設備の状態をモニタリングするセンサ
- ・ 設備の状態を評価するセンサデータのAI分析

などの組み合わせなどにより、設備の不具合の予兆や劣化の程度等の検知・把握を行う技術を募集します。

対象設備：国土交通省が管理する任意のCバンド又はXバンドレーダ雨量計  
(別図レーダサイト一覧参照。具体的な試行場所は、応募者の提案を踏まえ、国土交通省と調整の上、決定することとします。)

## 8. 試行実施の条件

- (1) センサや情報機器等の設置や機器状態データの取得は、レーダ雨量計の観測に影響がない方法(観測機器、通信ネットワーク、電源、周辺機器等、すべての観測に係る機器への影響を含みます)によることとし、当該レーダ雨量計設備の製造メーカーの協力・指導の下で作業を実施すること(作業体制の構築は、応募者の責任で行うこと)。

- (2) 設置するセンサ等は、容易に設置及び撤去ができる構造とし、原則として既存レーダ雨量計設備の変状を伴わないものとします。
- (3) 設置したセンサ等の設置や点検、データの回収などレーダ雨量計設備への入局は、原則として国土交通省が実施する年4回のレーダ雨量計設備の点検タイミングと併せて行うこととし、それ以外の入局は、国土交通省と協議の上、実施すること。
- (4) レーダ雨量計の破損や観測に影響が生じた場合は、応募者の責任により直ちに復旧を行うこと。また、国土交通省から試行の中止、機器の撤去等の指示があった場合は速やかに対応すること。
- (5) 応募者は試行開始前に、試行内容、設置機器、連絡体制などを記載した計画書を提出し、国土交通省の承認を得てから、作業を開始すること（上記の条件を満たさない試行については、実施は認められません）。
- (6) 試行費用、その他本公募に関連して発生する費用は、応募者の負担によるものとします。
- (7) 試行期間終了後に、結果を国土交通省に報告すること。

## 9. 実証試験スケジュール（予定）

2018年7月6日 公募〆切

7月 参加企業等の選定（計画書作成開始）

7月～ 計画書提出、内容協議・決定

8月～ 機器設置、試行開始

2019年3月末まで 試行実施・結果のとりまとめ

※結果や応募者からの提案により、試行期間を延長することがあります。

## 10. 問合せ先

国土交通省 大臣官房 技術調査課 電気通信室

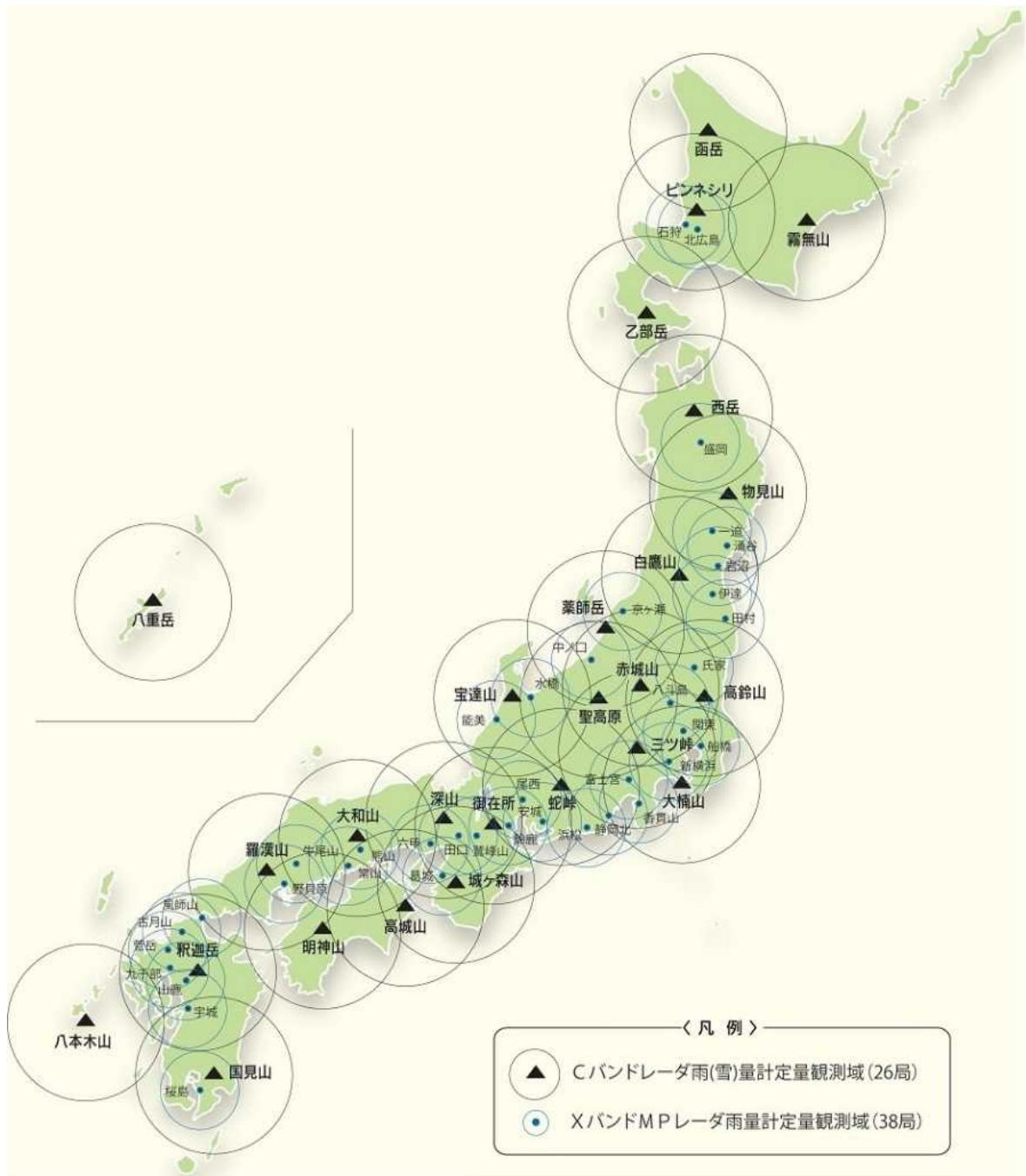
AI技術開発トライアル 担当

（電話） 03-5253-8223

（FAX） 03-5253-1538

（受付時間） 土・日・祝日を除く平日の9：30～17：00

（ただし、12：00～13：00を除く）



別図 レーダサイト一覧

# AI技術開発トライアル(レーダ雨量計の予防保全) 応募書類 作成要領

## 1 申請書【応募様式】

各記載欄の記載要領に沿って記載してください。

## 2 技術内容詳細【自由様式】

- ① 資料はA4版横10枚以内(表紙含む)に収まるようにして下さい。
- ② 提出資料はWord/Excel/PowerPoint/PDF/JPEGのいずれかの形式でお願いします。
- ③ 内容は可能な限り具体的に記載して下さい。
- ④ 実用化に向けた課題も併せて示すようにして下さい。

## 3 その他

- ① 応募書類は日本語で記載してください。日本語で記載されたもののみ受領します。
- ② 応募書類の情報を元に、試行内容等を国土交通省HPやその他の媒体に掲載することがあります。

AI技術開発トライアル(レーダ雨量計の予防保全)  
申請書

平成 年 月 日

応募者 (グループの 場合は代表)	企業・団体名		
	代表者		
	住所	〒	
	担当者		
	連絡先	TEL:	Email:

## 1 提案技術の概要

・当該技術の内容を簡潔に把握できるような概要を数行程度で記載してください。

## 2 技術のポイント

## 3 期待される効果・PRポイント

期待される効果・PRポイントについて、簡潔に記載してください。

## 4 図・写真

・概要がわかる図や写真があれば添付してください。

## 5 試行実施希望レーダサイト(別図レーダサイト一覧参照。)

## 6 現地に設置する機器やセンサ、レーダ設備から取得する機器状態データ

## 7 本申請書及び添付の提案内容詳細を他の提案者と共有することを

希望する ・ 希望しない (いずれかに○をつける。)